

Tan Ngho Tiong

タン・ゴー・ティオン博士はシンガポール大学の社会科学学部の前学部長で、社会科学のシンガポール国立大学とソーシャルワークと心理学部の元准教授です。



タン教授は、ソーシャルワーク・グローバル・インスティテュートの委員長で、以前はソーシャルワーカーのシンガポール協会の会長で国際ソーシャルワーカー連盟の副会長も務めました。また、ソーシャルワークの教育者で、ソーシャルワーカーでもあり、結婚と家族の調停者とカウンセラーとしても務めました。

タン博士は結婚、家族や子育てに関する書籍を執筆、編集：「裁判外の紛争解決」、「世界のソーシャルワーク」、「アジアにおける社会福祉」、「社会変革」、「アジアの津波とソーシャルワーク実践」です。彼の数多くの出版物には、ソーシャルワーク、カウンセリング、家族療法、紛争解決と仲介に関する記事が含まれています。彼はまた、次のような多くの編集委員会のメンバーでした。「社会における家族」、「APJSWD（アジア・パシフィック ソーシャルワークと開発ジャーナル）」、「JSWDR（障害とリハビリにおけるソーシャルワークのジャーナル）」、「ソーシャルワークの開発 AP ジャーナル」、「中国のソーシャルワーク」などです。

タン博士は博士号（ミネソタ）、MSW（ソーシャルワーク修士号）（ペンシルバニア）、および学士号（シンガポール）を取得。ケンブリッジ大学、UCバークレー校、ハーバード大学で教鞭をとりました。そして、ソーシャルワーカーパイオニア賞、国際コンソーシアムのアジア太平洋地域社会開発大統領賞、およびミネソタ大学の国際人特別リーダーシップ賞を受賞しています。

私の強い IASSW へのビジョンは、経済的安定と強い専門的なリーダーシップを持って、世界中のソーシャルワーク教育者や専門家たちに活気を与え、他の同じ意思を持つ国際機関と協力して、世界中のソーシャルワークのインパクトを強めていくことです。ソーシャルワークの研究、トレーニングおよび教育は、ソーシャルワーク実習を導き、捕捉し、専門的な実習を進めるために必要な理論、戦略、そして奨学金を提供するべきです。

ソーシャルワーク教育は、社会政策、研究、実践を進める上で、新しい土台を築き、有能な実践者を養成します。IASSW は、各国のソーシャルワークを変革し、発展途上国を中心とした新たな練習のフロンティアを革新する国際的なソーシャルワークリーダーシップの大きな可能性を秘めています。IASSW の優先事項は、ソーシャルワークの研究と教育の卓越性に貢献し、ソーシャルワーク奨学生の実行可能なコミュニティを作り、テクノロジーを活用してさまざまなプラットフォームを通じてアイデアや実践を交換することです。

私の長年のソーシャルワーク教育者としての背景、ソーシャルワークの専門的な発展の支援者、大学での事務関係の仕事経験、そしてグローバルソーシャルワークショップの創設者としての経験は、IASSW の資産になります。アジア太平洋地域ソーシャルワーク教育協会では当初、財務担当を務めました。現在成長しつつある国際ソーシャルワーク連盟のアジア太平洋地域の会長として IASSW を先導していけることを願っています。私はシンガポールのソ

ーシャルワーカー協会の会長として、最初のソーシャルワーク登録協議会の議長をつとめました。そしてミネソタのソーシャルワーク・ライセンス理事会の諮問委員を務め、複数のパートナーの協力を得て、4カ国の津波の生存者（FAST）プロジェクトを推進し、アジアの津波の影響を受けた家族と接してきました。私は10冊以上のソーシャルワークの書籍を出版し、アジア太平洋ソーシャルワーク雑誌を開拓し、雑誌や出版社の多くの編集委員を務めました。

IASSWのためのプロジェクトとキャパシティ構築を推進して行ける、持続可能な財源開発戦略が不可欠です。私の目標は、メンバーシップからだけでなく出版、リサーチ、コンサルタント業、トレーニング、そして私たちの得意とする教育などの業務から一定の収入の流れを作ることです。現代のコミュニケーションと技術を活用して、ソーシャルワーク教育のトレーニングやアドバイスの提供ができます。私たちは今後、積極的に大学や国連、国際財団やINGO（国際民間機構）などの国際機関との関係を構築していく必要があります。他の人々と協力して、私たちはグローバルな存在感と影響力を維持し、効果的にグローバルな社会福祉を強化していけるのです。